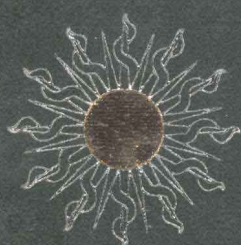
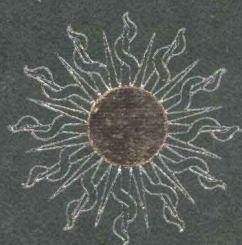
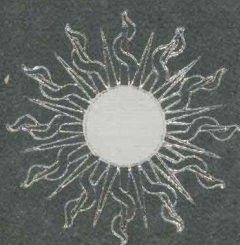
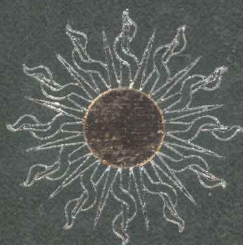
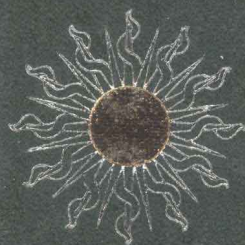

JAPONICA

索引小百科



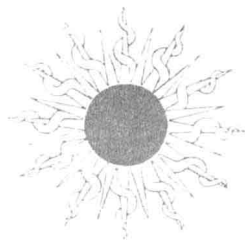
24



ENCYCLOPEDIA
JAPONICA



大日本百科事典
索引小百科



24

SHOGAKUKAN



ENCYCLOPEDIA JAPONICA

大日本百科事典

ジャポニカ - 24

索引小百科

© 株式会社 小学館 1980年

昭和47年7月1日 初版1刷発行
昭和55年5月1日 新版1刷発行

編集者兼 発行者	相賀徹夫
印刷者	澤村嘉一
発行所	株式会社 小学館
郵便番号	〒100
東京都千代田区一ツ橋	二ノ三ノ一
編集・東京 製作・東京 販売・東京	〇三・一三・一〇・五三・三〇・三三・一〇・五七・三九
電話	東京 八二〇〇番
振替	東京 八二〇〇番

印刷	印刷株式会社
特用紙抄	王子製紙株式会社
クロス抄	ダイニツク株式会社
表紙用 特製色箔	独逸顔料工業株式会社
製本	凸版印刷株式会社

造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら、おとりかえいたします。

Printed in Japan

百科事典ということばは、英語のエンサイクロペディア Encyclopedia の訳語であることはいうまでもないが、『智環啓蒙』ということばが当てられた時代がある。

それは、a circle of knowledge を直訳したことばで、いわば知識の体系、あるいは知識の環という意味にはかならない。この『智環啓蒙』という一九世紀のことばこそ、じつに百科事典の本質をつかんでいるとともに、また、百科事典における「索引」の性格と、その機能を的確に言い当てているものである。

百科事典は、文字どおり『知識の環』である。百科を越える分野・部門が、幅ひろく収録されている。それらが全巻に一体化されている。あらゆる多様な、複雑な知識欲にこたえうるものとして、さまざまなジャンルが結びつき絡みあいながら、大きな環をなしているものである。この『大日本百科事典・ジャポニカ』は、一〇万という、膨大な項目をうち出しているが、『索引』を検索することによって、項目を読みくらべ、読み合わせ、また読み返していくならば、幾層倍かの知識の内容と、体系的な知識のなりたちを理解することができる。

「索引」の積極的な利用にともない、それを生かしきればきるほど、百科事典が見事な『知識の環』であることに気づくはずである。約三二万に及ぶ関連と指示は、あらゆる知識欲に対応しうるものであろう。

本書は、これまでの「索引」の性格をふまえ、その充実化、徹底化をはかるとともに、『索引小百科』として、新しい特長をもっている。簡潔な解説がほどこされ、項目の概要がとらえられるようになっていて、『小百科事典』としての要素をもっているため、在来の人々なる索引よりも、いっそう利用度が高くなると考えられる。さらにこれからの『知識の環』をひろげるためにも、本書の機能を十分に活かされることを念願する。

凡 例

特色と使い方

- (1) この索引は、ジャポニカ全23巻の本項目すべてと、その解説本文中から選出した索引項目とで成り立っています。
- (2) 本項目はゴシック活字(太字)で表記し、所在を示す巻・ページ・段のほかに簡潔な解説を加え、さらに参照すべき関連項目を五十音順に↓印でつけ加えています。

【例】 アスワン^ハハイ^ニダム^ニ ナイル川にかかる総貯

水量世界二位のダム¹²⁴⁰【*】 ↓アブ^ニシンベル
神殿 ↓自然改造^{エジプト} ↓ナイル(川) ↓

ナセル(湖)

- (3) 索引項目は明朝体活字(細字)で表記し、それを選出した本項目は、従来のように巻・ページ・段ではなく、本項目名そのものを↓印で直接示してあります。

【例】 養花天 ↓花曇り

蛹化^カホルモン ↓前胸腺^{うぜんせん}

洋がらし ↓からし ↓マスタード

洋瓦 ↓瓦^カ瓦^カ種類 ↓屋根

溶岩トンネル ↓火山(火山噴出物) ↓洞穴(種類

と成因) ↓風穴^{ふうけ}

溶岩餅 ↓集塊岩

▼略記号の種類は次のとおりです。

↓ 該当する項目への送りを示す

【*】 参照すべき関連項目を示す

【別表】 別刷の図版(特殊印刷・多色印刷など)を示す

【表】 表を示す

【別表】 別刷の中の表

【*表】 図版の中の表

『 書名・雑誌名・作品名など

『 巻・ページ・段は、10236Aとあれば10巻236ページ最上段の

意。Bは第2段、Cは第3段、Dは最下段。

▼これまでの索引項目は、たとえば、

『アイアン^ニホース¹³¹⁵A¹⁹²³⁸A

のように表記され、引いてみるまで内容はわかりませんでした

が、この索引小百科では、

『アイアン^ニホース¹³¹⁵A¹⁹²³⁸A ↓西部劇^{*} ↓フォード^ニJ

- と示され、これがジョン・フォード監督の西部劇映画であること、しかも^{*}印によってその映画の一シーンが「西部劇」という項目にあることが一目でわかるよう配慮しました。
- (4) 本項目の解説はできるだけ簡略化し、内容を圧縮してあります。したがって、学問的に正確な概念規定や、より豊かな知識の源泉を汲む、などといったことのためには、やはり本項目自体を引いてごらんになるようおすすめします。
- (5) 「愛国心」とか「挨拶」のように、あらためて説明することかえって複雑になる項目は解説をやめ、代りにできるだけ関連項目を添えるようつとめました。

内容と手引き

- (1) 国名

▼地名につけた国名は中国・朝鮮をのぞきすべて^{リス}のよう小活字で表記し、ソビエト連邦は^{ソビ}、ユーゴスラビアは^{ユゴ}、チエコスロバキアは^{チエ}のように簡略化してあります。

【例】

アルチ^ニョム¹⁵⁷ 沿海州の新興都市¹⁵³⁷D

アルチ^ニン(山脈) 中国、青海チベット高原北縁¹⁵³⁷

▼東・西ドイツはそれぞれ^東・^西、南アフリカ共和国は^南と表記してあります。

【例】

アイゼン^ニヒュッテン^ニシュタット^ニ 東^東 製鉄都市¹²⁴A ↓ドイツ(ドイツ民主共和国(鉱工業))

ウェル^ニコム^ニ 南^南 オレンジ自由国州の新都³⁴¹C

▼本文解説の中ではアメリカ・イギリス・イタリア・オーストリア・ドイツ・フランスは、それぞれ米・英・伊・独・仏と略記した場合があります。

【例】

ポツダム^ニ協定^ニ ドイツの戦後処理方針に関する米・英・ソの協定。一九四五²⁰⁴⁷⁸A

ロンドン^ニ軍縮会議^ニ 米・英・仏・伊・日の海軍軍備制限に関する国際会議。一九三三²³⁴¹D

▼なお、アメリカ(合衆国)・ソビエト(連邦)などの大国には解説を加えず、他は所在・首都を記すにとどめました。

【例】

アイスランド(共和国) 大西洋北部の島国。首都レイキヤビク¹²⁰C^{*} ↓「エッダ」 ↓サーガ

アメリカ(合衆国) ¹⁴¹⁵B^{*}例

アルジェリア(民主人民共和国) アフリカ大陸北西部。首都アルジェ¹⁵²⁸C^{*}

▼古代の国家では、ギリシアは ギリ と表記しましたが、ローマは範囲・年代ともに広大なため国名扱いをせず、解説文中に記しました。

【例】 アキタニア 古代ローマ時代、現フランス南西部の

呼称 [115A]

アクロポリス ギリ 都市国家の中心に立つ丘。とくに

にアテネ市のもをさす [139C] * 例 ↓アテネ *

↓ギリシア [暗黒時代とボリスの誕生] ↓都市国

家 ↓バルテノン

(2) 人名

▼人名にはまず国名、次に「姓」のように生没年をいれました。生没年不詳の場合は、何時代あるいは何世紀ごろと解説文中に記しました。

【例】 アズナブル フランス 「姓」 シャンソン歌手・作詞

作曲家 [231D]

韋提希夫人 インド 前六世紀、マガダ国王ビンビ

サーラの妃 [224B]

王実甫 中国、元代の雜劇作家 [425D] ↓西

廂 記

▼生没年が紀元前に終始するとき「前」と記し、紀元前後にまたがるときは「前」後」と表記してあります。

▼その人物の主要な作品や重要な関連事項が別に本項目としてあるときは、代表的なものを選んで↓印で加えてあります。

【例】 エンゲルス ドイツ 「姓」 マルクス主義の共同創設

者 [358B] * ↓階級国家 ↓家族・私有財産お

よび国家の起原 ↓共産主義 ↓共産党宣言

↓空想より科学へ ↓資本論 ↓社会主義

「マルクス以後」 ↓ドイツロイデオロギー ↓

弁証法的唯物論 ↓マルクス * ↓唯物論

カミュ フランス 「姓」 小説家・劇作家 [559A] * ↓

異邦人 ↓カリグラ ↓誤解 ↓シジフ

オスの神話 ↓ノーベル賞義 ↓ベスト

ガンジー インド 「姓」 独立運動の革命政治

家・思想家 [624D] * ↓サティヤグラハ ↓非暴

力主義

▼↓印で示した関連項目に*印があるときは、索引項目が図版にあることを示します。

【例】 歌川豊国 江戸末期の浮世絵師。初世―四世。初世

と三世が有名 [317A] * ↓靉猿 うし * ↓児雷

也 いや豪傑 たけ 譚 たん たり が * ↓染模様妹背門松 かみ まつ * *

これは人名に限らず、たとえばエトルタというフランスの海水浴場は、その項目には図版がありませんが、モーパッサンの『女の一生』の舞台ということでモーパッサンのところに写真がはいっていますので*印で示してあります。動・植物名も同じです。

(3) 地名

▼地名は日本を除き、人名と同じくまず国名を表記し、次にできるだけ具体的に所在の解説を加えました。

【例】 ウスワイア アフリカ フエゴ島の港町。世界最南の町

[311D] ↓フエゴ(島) *

▼著名な山・川にはそれぞれ高さ・長さをつけ加えました。

【例】 モンブラン フランスとイタリアの国境。アルプス

山脈の最高峰。8660m [22130A] * ↓アルプス *

オビ(川) ロシア 西シベリアを北流。本流 長 6436

[D]

▼日本の県名には解説を加えず、町名には何県何郡のみを記し、とくに必要なもののみ特色を加えました。

【例】 愛知(県) [127C] * ↓中京圏 ↓中京工業地帯

相川(町) 新潟県佐渡郡。旧鉾山町 [18B] ↓佐渡

金山

(4) 動・植物名

▼動・植物名はほぼ科名で統一して分類を示しました。必要に応じてカタカナ名の下に「科」で漢字を示したのはジャポニカ本巻と同じです。

【例】 アラメ「荒布」チガイソ科の海藻。食用 [145A] *

↓海藻 * ↓カジメ

カイドウ「海棠」バラ科の落葉低木。庭木・盆栽用

[453A] * ↓花木 花 表

▼科名が本項目名と同じときは、科の海水魚というように科の記号を使用しました。

【例】 カイカムリ「貝破り」科のカニ。暖海産 [448C] *

クルマ「胡桃」科のクルマ属の総称。ふつうオニ

グルミ [7534C] * ↓オニグルミ ↓草木染め 表

↓テウチグルミ

以上のほか、↓印で示した関連項目にはつとめてふりがなをつけ、引きやすいよう、たどりやすい心がけました。

この新しい形式の索引のページを次から次へとくりひろげられることによって、幅広い知識の散歩をお楽しみいただけることを念願しております。

五十音索引

ん 725	わ 720	ら 687	や 665	ま 619	は 507	な 476	た 387	さ 259	か 117	あ 1
《付表》 年代対照表 726	ゐ 693	り 693	い 634	み 634	ひ 537	に 487	ち 413	し 281	き 163	い 37
	う 704	る 704	ゆ 673	む 646	ふ 556	ぬ 497	つ 430	す 343	く 189	う 61
	ゑ 707	れ 707	え 652	め 652	へ 587	ね 499	て 437	せ 357	け 209	え 76
	を 713	ろ 713	よ 679	も 657	ほ 600	の 502	と 453	そ 378	こ 223	お 91

あ

あ 母音の「あ」は安、「ア」は阿から111
阿 ↓阿咩^{アヒ} ↓阿字観 ↓労働歌
「あゝ革命は近づけり」 ↓労働歌
「あゝ金の世」 ↓流行歌集 「C」 ↓寮歌
「嗚呼玉杯に花うけて」 田制一高寮歌。明治^三11
「あゝ玉杯に花うけて」 佐藤紅緑の少年小説。昭和
三^三111C ↓少年倶楽部
「ああ荒野」 オニールの家庭劇。元三初演11C
「ああ、これらの息子たち」 ↓スンスネーギ
「ああ、そはかの人か」 椿姫 第一幕のアリア11
「ああそれなのに」 ↓流行歌集
嗚呼忠臣楠氏^{ナカノ}の墓 ↓頼山陽
アフメス^{アフメス}（世） 砂 前元世紀、第一八王朝の始
「アフメス」レミゼラブル 「祖」11D
「ああ大和にしあらましかば」 ↓白羊宮^{ハクヤク}11D
アア溶岩 表面粗の玄武岩質。三宅島など111D
亜アルカリ岩 ↓カルク^{カルク}アルカリ岩
I アルファベットの第九字111D
アイ タデ科の一年生染料植物。主産地徳島111D
＊ ↓草木染め義 ↓染料「天然染料」 ↓タデ
アイ ↓間^マ狂言
アイ ↓アユ
あい ↓合の手
藍 染料名12B＊ ↓インジゴ
藍 慣用色名113B
愛 13B ↓愛情 ↓アガベ ↓恋愛
アイアイ ↓科の夜行性哺乳類。和名ユビザル13
「C」 ↓サル＊
アイアイエ ↓キルケ ↓女護が島
相合傘 相思相愛の男女の風俗13D＊
アイアス（大） ギリシア伝説の英雄13D＊ ↓オ
デュッセウス
アイアス（小） ギリシア伝説の人物。実在か14A
アイアス ↓アイアス（大） ↓ソフォクレス
アイアストン 「アイアス」ビュリタン革命期の軍
人14A ↓インディペンデンツ
IR 情報検索
IRO ↓イリ
IRO ↓国際難民機関
IRBM ↓ミサイル
アイアンクラブ ↓ゴルフ
アイアン＝デューク ↓戦艦表
アンアン＝ホース ↓西部劇＊ ↓フオード ↓J
IE ینگストリアル＝エンジニアリング

愛育会 乳幼児・母性の研究・養護機関 14 A
藍色の猿 アイ(季語)
藍植う アイ(季語)
IEC 国際電気標準会議
藍絵 浮世絵版画の一。天保年間に盛行 14 B *
IAEA 国際原子力機関
IAD 計画 ↓水た資源
IAAF 国際陸上競技連盟
IASY 国際地球観測年
IASC 技能オリンピック
ISIC ↓日本標準産業分類
ISOF IF 国際競技連盟
ISO 国際標準化機構
ISU 国際競技連盟
IATA 国際航空運送協会
INI ↓スペイン(国)〔鉱工業〕
INS ↓UPI
IF 国際競技連盟の略称 14 C ↓国際競技連盟
IF ↓中間周波数
IFRB 国際周波数登録委員会
IFARD 国際連合専門機関
IFC 敵味方識別装置。電波・音波利用 14 D
IFC 国際金融公社
IFJ 国際ジャーナリスト連盟
IFCTU 国際キリスト教労連
IFTA 国際教員団体連盟
IFTU 国際労働組合連盟
IMF 国際通貨基金
IMF JIC ↓労働組合〔日本〕
IMFDル ↓通貨
IMF平価 ↓為替平価 ↓国際通貨基金 ↓通貨
IMC 有視界飛行方式
IMCO 政府間海事協議機関
ILSO 計器着陸装置 指向性電波で誘導 15 C *
ILSO 国際労働機関。五九設立 15 D ↓ノルベ
ILO 条約 ILO総会採択の国際労働条約 16 A
ILO勧告 ↓ILO条約
IL2型 ↓リユレン
秋穂(あきほ) 山口県古敷郡 16 C
相生(あいきい) 用語。男女・夫婦の契りの深さのたとえ 1
相生 ↓高砂 6 C
相生(市) 兵庫県南西部の造船工業都市 16 C
相生(町) 徳島県那賀郡 16 C
相生挿 ↓相生
相生獅子 長唄曲名。最古の石橋物語 16 D
相生杉 ↓スギ〔民俗〕
相生松 ↓相生 ↓縁結び
相生松 ↓高砂 36
相生結 ↓相生
IOC 国際オリンピック委員会
IOJ 国際ジャーナリスト機構
IOCU 国際消費者同盟
IOU ↓U

アイオリア^{アイオリス}の浮島 前1000ころ移住・植民16 D
 アイオリス人^{アイオリス人} ↓アイオリス人
 アイオリス地方 ↓アイオリス人
 アイオロス キリシア神話の風の神16 D
 アイオワ ↓戦艦表
 アイオワ(州) 中西部の農業州。州都デモイン
 アイオワシティ 中西部の農業州。州都デモイン
 アイオワ大学 ↓アイオワシティ
 哀歌 ↓エレジー
 哀歌 ↓聖書表
 アイガー(山) アルプス三山の一。元々北
 相欠き ↓仕口
 相欠 ↓仕口
 相繼 17 C
 相率 ↓相合率
 合方 邦楽用語。合の手長いもの17 D ↓合の手
 藍型 沖縄の型染めの一。紅型^{紅型}の対17 D *
 I型超新星 ↓電波星
 間語り ↓間狂言
 アイガー北壁 ↓アイガー(山)
 藍紙 ↓青花^{青花}
 藍瓶^{藍瓶} ↓藍(染料)
 藍瓶役^{藍瓶役} ↓紺屋役^{紺屋役}
 アイカメラ 注視点を調べる実験心理学の機械1
 アイガモ(間鴨) ガンカモ科の水鳥。食用18 B
 藍川(町) 秋田県北秋田郡18 B
 相川(町) 新潟県佐渡郡。旧鉾山町18 B
 愛川(町) 神奈川県愛甲郡。ミシンの産地18 C
 相川首領 佐渡川の民謡18 C
 相川考古館 群馬県伊勢崎市。相川の賀^賀収集18
 相川鉾山 ↓佐渡金山
 相川の賀^賀 ↓相川考古館
 アイカワタケ(間皮茸) ↓マスタケ
 愛玩犬 ↓イヌ *
 鯉川^{鯉川}光郎 ↓鯉光^{鯉光}
 鯉川義介 ↓鯉川^{鯉川}義介
 愛玩動物 18 D
 合着 ↓合服
 間着 三枚重ねの間の長着18 D
 相聞^{相聞} ↓与謝野鉄幹
 アイギス ↓アテネ
 アイギストス ↓アトレウス
 合気道 武道の一。大東流合気術が源流19 A *
 アイギナ(鳥) サロニカ湾内19 B
 アイキャッチャー デザイン用語。注目させるた
 めの技術表現19 B *
 IQ ↓知能指数
 IQSY ↓国際地球観測年
 IQ制 輸入割当制19 C
 IQ品目 ↓加工貿易
 アイギュボトス ↓エジプト(名称と風土)
 『愛経』 ↓性典
 愛敬^{愛敬} ↓性典
 間狂言 能のなかで狂言方の演ずるつなぎの部分1
 用語 現在は愛嬌に同じ19 D
 『9D』

愛郷塾 橋孝三郎の私塾 五・一五事件に参画 1
愛憎女の歌 1
アイク ↓アイゼンハワー
阿育王 ↓アショカ王
アイクシュテット ↓人種分類 1
合口 鐸のない短刀 110A ↓短刀
「匕首」メッキの歌 ↓三文オペラ
藍限 ↓限取 1
アイクマン ↓エイクマン
アイグレ ↓ヘスベリデス
愛理條 条約 ロシアと清の領土条約 六六締結 1
10A ↓ネルチンスク条約
アイゲウス ↓テセウス
アイケルバーガー ↓ザクセンシュビーゲ
アイゲン ↓ノーベル賞表(化学)
アイコ ↓ミヤマイロカサ
哀公(「藍子」) ↓科の海水魚 110B ↓孔子廟
哀公(「前漢」) 中国、春秋時代の魯の王 110C
哀号 中国・朝鮮の葬儀儀礼 110C ↓泣き女
「愛国行進曲」 瀬戸口藤吉作曲の国民歌 昭和三選
定 110C ↓軍歌
「愛国行進曲」 ↓国歌(「フイリピン」)
愛国公党 日本最初の政党 明治七結成 110C ↓
自由民権運動 ↓政党 ↓民選議院設立建白
愛国社 日本最初の全国的政治結社 明治八結成 110D ↓板垣退助 ↓国会期成同盟 ↓政治結社
愛国種治害 ↓凶作 ↓政党
愛国志林 ↓愛国社
愛国心 110D ↓ジョービニズム ↓ジンギイズ
「愛国新誌」 ↓愛国社
愛国婦人會 明治三創立の軍人援護団体 111C ↓
↓奥村五百子 ↓大日本婦人會 ↓婦人運動
愛国労働運動 国鉄労組反共派が昭和三提唱 111D
アイコスボタモイの戦い アテネ・スパルタ戦 前
四一五 112A ↓ペロポネソス戦争
合言葉 味方の間できめておく約束語 112A ↓味
藍粉成 112B ↓藍染料
愛護の若 説教節の曲名 112B ↓「方識別」
アイサ(「秋沙」) ガンカ科の水鳥 112C ↓カモ
相坂川 ↓奥入瀬川 112D
相林 ↓夫婦林 112E
哀相 ↓契丹の文字
挨拶 112D ↓握手 ↓口上 113A
挨拶言葉 ↓挨拶表
アイサイ(「藍鯨」ツノザメ科の海水魚 113B
相去 ↓岩手県北上市の一地区 114A
「愛されぬ女」 ↓ルドトニキー
相沢三郎 ↓相沢事件
相沢事件 相沢三郎中佐が永田鉄山軍務局長を斬
殺 昭和二 114A ↓皇道派 ↓統制派
鉄山



あいさわ

会沢正志斎 〔註〕 水戸学者・思想家 114 B
↓
水戸学
アイサワロディバート亭 ↓タイ(王国)★
会沢安 ↓会沢正志斎
愛餐 ↓アガベ
愛山溪温泉 北海道十川町。硫黄泉ほか 114 B★
藍師 ↓藍染料
IC 集積回路 114 B★ ↓LSI
ICI 世界有数の化学工業会社 115 A
ICI 表色系 色の表示法の一 115 A ↓CIE表
ICRP 国際放射線防護委員会 「色系」
『哀詩エヴァンジェリン』 ↓エバンジェリン
ICAO 国際自由労連
ICFTU 交通博物館
ICC 国際商業会議所 「B」 ↓NGC星表
IC星表 ドライヤーの星雲目録「ハニ、元」 115
IG染料 ↓イリゲールフルペン
アイジット 政治家。共産党書記長
ICBM ミサイル
ICBP 国際保護鳥
アイシャドー まぶたの着色化粧品 115 C
ICU 国際基督教大学
愛情 人間の心理的な適応関係 115 C
愛情 115 D
哀傷歌 勅撰集の部立の一。挽歌等に該当 116 A
『愛情はふる星のごとく』 尾崎秀実の獄中書簡。
昭和三刊 116 A
合印 合戦のとき味方につけるそりの印 116 A★
合標 布を縫い合わせる時につける標 116 B
IGY 国際地球観測年
愛新羅羅 中国、清朝皇室の姓 116 C ↓スル
アイシキョロ 愛新羅羅
アイシキョロ 洋菓子の材料 116 C
アイシキョロ ザパット ↓アイスホッケー(用語)
「Think So」 ↓国古康雄★
アイシングラス 魚膠の一。清澄剤・接着剤 116
会津 ↓会津
アイスアックス 登山用の斧 117 A ↓ピッケル
愛洲惟孝 〔註〕 室町末期の剣客。陰流の祖 117 A
↓陰流
アイスキネス 前5、前4世紀の哲学者 117 A
アイスキナー 棒状の冷媒 117 B
アイスキューロ 棒状の冷媒 117 B
↓「オレスティア」
↓「前」 大慈劇詩人 117 B★
アイスクリーム 冷凍の乳製品 117 C
アイスクリーム フリーザー 冷凍器 118 B
アイスクリーム ミックスパウダー 118 C
アイスキューロ リンク上のスケートシューズ 118
アイスキューロ スケート 118

あいすせ

アイス染料 冷染料
アイストリング ↓カクテル★
アイストリンク 登山用のハンマー 118 C
アイスパイン ↓ドイツ料理
アイスパークン ↓ハーケン
アイスパック 保冷食品入れ 118 D
アイスパーン 食料(用語)
アイスパンマー ↓アイスパール
アイスピック 氷割り用の錐 118 D
アイスフール 氷瀑。氷河の滝 119 A★
アイスベール 氷瀑。氷河の滝 119 A★
アイスベール ↓カクテル★
アイスボックス 冷蔵用箱形容器 119 A ↓冷蔵
アイスホッケー 氷上スケート競技 119 A★ 「庫
アイスボート ↓アイスヨット
アイスボート 徳島県板野郡。アイ栽培の中心 120 A
アイスミル ↓アイスクリーム
アイスヨット 風力利用の水上ヨット 120 B★
アイスランド 風力利用の水上ヨット 120 B★
アイスランド(共和国) 北大西洋北部の島国。首都
レイキヤビク 120 C★ ↓エッタ ↓サーガ
アイスランドからカモメ
アイスランドからの手紙 ↓紀行文学「西洋」
アイスランド語 北ゲルマン語の一 122 C
アイスランドの鐘 ↓ラクスネス
アイスランド文学 ↓北欧文学
アイスランド・ポピー ケシ科の多年草 122 D★
藍標 ↓藍緑
『愛する神の歌』 ↓津村信夫
『愛する時』 ↓グリン H
『愛する時と死する時』 ↓レマルク
『愛すればこそ』 ↓谷崎潤一郎
アイスレーベン 東部、南部、ハレ西方の町。銅の
哀惜詩集 ↓デュペレ
『愛せぬのに』 ↓バザン
アイスナハ 東部、チウリンゲン北端の町。J
S 112 Aハ派。ドイツ社会民主労働党 123 A
アイセル(湖) 人工湖。もとソイデル海 123 A
↓エメルオールのスパイク 123 B★ 「ポルダー
アイゼン 登山用のスパイク 123 B★
『愛染』 ↓川端康成★
『愛染』 ↓大本教
『愛染から』 川口松太郎の小説。昭和三完。映画
化 123 C
アイゼンシュタイン 〔註〕 数学者 123 C
アイゼンシュタット ブルゲンラント州の州
都 123 D
アイゼンハワー 第三四大統領。陸
軍元帥 123 D
アイゼンヒュッテンシュタット 東部。製鉄都市 1
24 A ↓ドイツ民主共和国(鉱工業)
愛染明王 仏教で毒害消除の善神 124 A★

あいそす

アイソスタシー 地殻均衡。地殻・上部マントルの
静水圧平衡 124 B
アイソスピン ↓素粒子(新粒子の謎)
アイソタイプ ノイラート提唱の絵言葉のシステム
124 D★
『愛想つかし』 世話狂言の演出の一。縁切りとも 124
アイソトープ 同位元素。同じ元素で原子の質量数
が異なるもの 125 A★ ↓原子力★
アイソトープ電池 ↓原子力電池
アイソバール ↓同重体
アイソプレス ↓等値線図
アイソボス ↓イソップ
藍染め ↓藍染料
アイソレーション ↓IC
アイソレーション ↓ベリアス
英田(町) 岡山県英田郡 126 C
『アイター』 ベルディの歌劇。ハニ初演 126 C
『アイター』 心中に対する江戸幕府の法制用語 126 D
相対死 心中に対する江戸幕府の法制用語 126 D
相対死令 江戸幕府の法令の一 126 D 「↓心中
相対売買 取引用語。一対一の売買法 126 D
相対貿易法 ↓長崎貿易
アイタケ(藍茸) ベニタケ科のキノコ。食用 127 A
↓ハツタケ ↓ベニタケ
合竹 ↓雅楽・音楽的特徴) ↓笙
アイタケ ↓タケ
藍建て ↓藍染料
愛他自殺 ↓自殺原因
アイター・デーン 党 ↓シュレスウィヒホルン
IW 世界産業別労働組合 「タイン
アイタベ 西部の山岳州。州都ボイシ 127
アイタボ州 西部の山岳州。州都ボイシ 127
藍玉 ↓藍染料
愛田安明 和算家。最上流の祖 127 B
『愛田安明』 性典
朝所 大内裏内侍の会食場 127 C
愛知(県) 127 C★ ↓中京圏 ↓中京工業地帯
愛知学院大学 私立。名古屋 130 A
愛知教育大学 私立。刈谷市 130 A
愛知県立芸術大学 長久手市 130 B
愛知県立大学 名古屋 130 B
愛知工業大学 名古屋 130 B
愛知工業大学 名古屋 130 B
愛知高原国定公園 愛知県北東部 130 B ↓愛知
(県) ↓国立公園★
愛知女子大学 私立。昭和聖安城学園大学と改称。
愛知大学 私立。豊橋市 130 C 「岡崎市 130 C
愛知紡績所 ↓岡崎(市) ↓岡崎令高
愛鳥週間 五月一日〜六日 130 C
愛知用水 木曾川利用の用水路。昭和完成 130 D
会津 福島県西部。阿賀野川上流地方の総称 131 B
会津 福島県会津若松市の銘菓 131 B
会津大塚山古墳 ↓大塚山古墳
『会津軍記』 徳川家康の会津征伐記。杉原親清著
『会津陣物語』 ↓会津軍記 131 C
会津線 只見線西若松〜会津滝ノ原間 131 C

あいつせ

会津戦争 戊辰戦争の一。白虎隊で有名。ハニ 1
会津騒動 会津藩のお家騒動 131 C
会津高田(町) 福島県大沼郡 131 C
会津中央薬師堂 ↓勝常寺
会津塗 会津若松市特産の漆器 131 D★ 「↓花暦
『会津藩書』 佐瀬と次郎衛門著。元禄執筆 131 D
会津藩 会津地方を領有。藩主保科氏。のち松平
会津坂下(町) 福島県河沼郡 132 A 「氏 132 A
会津磐梯山 会津地方の民謡 132 A
会津盆地 福島県西部。中心は会津若松市 132 B
合橋幅越 和服のおくみ 132 B
アイツミシラス ↓カキ(柿)★
会津ハニ 〔註〕 歌人・書家・美術史家 132 B★
会津若松(市) 福島県西部。会津地方の中心 132 C
会津若松城 ↓城
会津若松城 技術者。室素固定法の硝酸製
造創始者 132 D
アイデア もとは観念・理念の意 132 D ↓イデア
アイデアリズム 133 A ↓理想主義 ↓観念論
哀帝 中国皇帝の諡号の一 133 A
ITI 国際演劇協会
ITA 独立テレビジョン協会。監督機関。元
来IBAと改称 133 B
IDA 国際開発協会
ITS 国際産業別書記局
ITO 国際貿易機関 ↓ハバナ憲章
IDカード 身分証明書の一種 133 B 「刊 133 C
愛通通信 国木田独步の日記戦争従軍記。明治
ITP 電気通信機メーカー 133 C
ITP イノシシ三機
IDBS 米州開発銀行
ITV 事務合理化の集中情報処理方式 133 C
ITU 国際電気通信連合
アイテル 田園詩・牧歌 133 D ↓パストラル
アイテル エレボス
アイデンティティ ↓自己同一性
愛東(町) 滋賀県愛知郡 133 D
『愛と偶然との戯れ』 マリポーの喜劇。ハニ初演 1
『愛と死』 ↓フランス映画 134 A
『愛と死との戯れ』 ロマン・ロランの劇。元禄発表
『愛と認識との出発』 倉田百三のエッセイ集。ハニ
刊 134 A
相殿 主祭神に他の神を配祀すること 134 B
アイドホルフ テレビの大型投影装置 134 B★
アイドマート 小説家 134 C
アイドマートの法則 広告製作の基本原則 134 D
アイドラー ベルトコンベヤーをさきえるローラー
134 D
アイトリア同盟 都市同盟の一。前四世紀 134
D ↓ギリシア(ヘレニズム時代)

あいも

あいろう

あうくす

アイロニー 皮肉・反語[148A]
 アイロンス 148B★ ひのし
 アイロン 148B★ オリンピックの表(男子陸上)
 アイロン 148B★ アイバー
 IYRU ↓国際競技連盟表
 アインシュタイン 148B★ ドイツ生まれの理論物理学者。E=mc²から米に居住[149B]★ ↓相対性理論 ↓ノーベル賞表
 アインシュタイン 148B★ 音楽家[149A]
 アインシュタイン 148B★ 重力効果の理論[149D]
 アインシュタイン賞 ↓アインシュタイン 148B★
 「アインシュタイン伝」 ↓桑本或雄著
 アインシュタイン塔 塔望遠鏡[149D]★
 アインズスタインウム 超ウラン元素の一。記号Es[149E]
 亜インダス文明 ↓インダス文明 概観と分布
 アイナテンブ ↓ガジアンテンブ
 アイントホーフェン 148B★ 生理学者[150B]
 ★ ↓ノーベル賞表
 アイントホーベン 148B★ 中南部の工業都市[150B]
 アインハルト ↓カール(大帝) ↓カロリングル
 ネサンス
 アインホルン 148B★ 胃腸病学者[150B]
 アウ(火山) 148B★ サンギ島の活火山[150C]
 アウアー 148B★ バイオリン奏者・教師[150C]
 アウイ 148B★ アヌイ
 アウィック 148B★ 経営学者。管理論[150C]
 アウィック 148B★
 アウキ ↓マライタ(鳥)
 アウグスタ 148B★ トレボルム ↓トリール
 アウグスチヌス 148B★ ローマの思想家・聖人。主著告白[150D]★ ↓神の国 ↓キリスト教
 「歴史」 ↓三位一体 ↓モニカ
 アウグスチヌス(カンタベリーの) 148B★ 司教・聖人[151B]
 アウグスチヌス アウグスチヌスの説を基礎とする修道会の総称[151B]
 アウグステイン(一世) ↓イトウルピデ
 アウグスト 148B★ 物理学者[151C]
 アウグスト(二世) 148B★ 王[151C]
 アウグスト(三世) 148B★ 王[151C]
 アウグスト(四世) 148B★ 王[151C]
 カエサル 148B★ 養子オクタビウス[151C]★ ↓アキチム 148B★ 海戦 ↓アグリッパ ↓ローマ帝政の開始
 アウグスト 148B★ ティッセン 148B★ 鉄鋼会社[152A]
 アウグスト 148B★ ネットウム ↓クレモネンフェラン
 アウグスト 148B★ 西 148B★ 最古の都市の一。バイエルン州[152A]
 アウグスブルク 148B★ 新田両派の和議 148B★
 52B ↓三十年戦争 ↓宗教改革 148B★

アオヤギ ↓アオザメ
青柳 バカガイの肉のよび名 [176 B]
青柳 番茶の一 [176 C]
アオヤギソウ ユリ科の多年草 [176 C]
青山 東京都港区の一地区 [176 C]
青山町 三重県名賀郡 [176 C] ↓阿保^{あほ}
青山氏 江戸時代 丹波国篠山を領した大名 [176 D]
青山学院大学 私立 東京都渋谷区 [176 D]
青山山麓^{さんろく} ↓口語歌
青山霞村^{せむら}
青山高原 三重県西部 [176 D] ↓室生^{むろ} 赤目 青山国
青山御所 東京都港区 東京御所所在地 [177 A]
青山杉作 演出家・俳優 [177 A]
青山拙斎^{せつさい} 儒者 [177 A]
青山銭 ↓紋章圖
青山忠俊^{ただひさ} 老中・岩槻城主 [177 B]
青山胤通^{たけみち} 内科医 [177 B] * ↓北里柴三
青山鉄槍^{てつそう} 儒者 [177 C]
青山峠 ↓青山高原
青山墓地 ↓青山霊園
青山霊園 東京都港区 [177 D]
アオランギ ↓クック(山)
あおり 写真の特殊技法 [177 D] *
障泥^{しやうに} 馬具の一。鞍ばりの下の泥よけ [178 A]
あおり返し ↓居所誌啓り
アオリイカ ジンドウイカ科のイカ [178 A] *
青リンゴ ฝรั่ง
亜音速 ↓マッハ数
アオンドリ ↓アオミドロ
あか [垢] 汗や脂肪のしみた死滅表皮細胞 [178 B]
あか 基本色名の一 [178 B]
關伽^{かんか} 仏前・墓前に供える水 [178 C]
赤^{あか}・青・黄のコンボジション ↓アオンドリアン *
アカアシアジサシ ↓アジサシ
アカアシカツオドリ ↓カツオドリ
アカアシガメ ↓カメ *
アカアシクワガタ ↓クワガタムシ
アカアシシギ シギ科の鳥 [178 D]
アカアシソバツタ ↓バツタ
アカアシミズナギドリ ミズナギドリ科の海鳥 [179 A]
アカアマダイ ◎アマダイ
アカリ (赤贄) アリ科。赤褐色 [179 B] ↓アリ
赤い赤いバラ ↓バリエーション
アカイアキ [第四回十字車からトル
アカイア人 前 三世紀ころに定住 [179 B]
アカイア同盟 都市同盟の一。前三公成立 [179
B] ↓ギリシア [古典期(2)]
赤い家 ↓ウェブ P
赤い家の秘密 ミルンの推理小説 一五三作 [179 B]
アカイエカ (赤家蚊) カ科の害虫 [179 C] ↓カ分
アカイカ ↓ケンサキイカ
赤い階段 ↓シャーン *

あかうそ

あ
か
か
り

あかこめ

6

赤米 赤飯^{〔87〕}
アカザ キギ科の淡水魚^{〔187〕}
アカザ^{〔黎〕} 科の一年草。原種はシロザ^{〔187〕}
アカザ科 双子葉・離弁花植物^{〔187〕}
アカザエビ 科のエビ^{〔187〕}
赤坂 東京都港区の一地区。高級歓楽街。旧区名^{〔187〕}
赤坂 愛知県音羽町の一地区。旧宿駅の一^{〔187〕}
赤坂 岐阜県不破郡の旧町名。昭和翌大垣市に編入^{〔187〕}
赤坂町 岡山県赤松郡^{〔187〕}
赤坂城 南北朝時代の楠木氏の城^{〔187〕}
赤坂の宿 高崎市^{〔攻め〕}
赤坂派 清元節^{〔攻め〕}
赤坂見附 赤坂^{〔攻め〕}
赤坂離宮 明治の洋風建築。元々竣工。現迎賓館^{〔187〕}
赤崎^{〔町〕} 鳥取県東伯郡^{〔187〕}
赤酒 熊本地方の特産^{〔187〕}
アカサシガメ 下サンガイ^{〔187〕}
アカサシガメ 含蜜糖や赤ささらに属する粗糖^{〔187〕}
アカサトウムシ 科の節足動物の総称^{〔187〕}
アカザガイ イタヤガイ科の二枚貝^{〔187〕}
ズマニシガイ^{〔187〕}
赤沢 大町トンネル^{〔187〕}
赤沢林道 群馬県。法師温泉と四万温泉を結ぶ^{〔187〕}
アカサシゴ サンゴ科。細工物用^{〔187〕}
アカサシザシ 花木^{〔187〕}
明かし 用語。清らかさ・灯火・証拠の意^{〔187〕}
明石 新潟県十日町市付近産の絹縮^{〔187〕}
明石 源氏物語^{〔187〕}
明石市 兵庫県南部の工業都市^{〔187〕}
赤字 不足額を表わす数字^{〔187〕}
赤字 新聞用語^{〔187〕}
アガシ J 古生物学者^{〔187〕}
アガシ 天変地異説^{〔187〕}
アガシ A 海洋生物学^{〔187〕}
アカシア マメ科・アカシア属の総称^{〔187〕}
赤潮 プラント科が大量発生した海水^{〔187〕}
水の華 厄水^{〔187〕}
アカシカ シカ科の哺乳類^{〔187〕}
明石海峡 淡路島と本州の間。幅四^{〔187〕}
明石寛一 平家琵琶の演奏家^{〔187〕}
アカシガタ ツバキ^{〔187〕}
アカシガタ ハナショウブ表^{〔187〕}
明石原人 化石人類。昭和六発見^{〔187〕}
明石公園 明石市^{〔187〕}
赤字公債 財政不足補填のための公債^{〔187〕}
赤字国債 公債^{〔187〕}
赤字財政 支出が収入を超過した財政^{〔187〕}
明石志賀之助 相撲表^{〔187〕}
赤獅子太陽社 赤十字^{〔赤十字〕}
アカシジミ シジミチョウ科のチョウ^{〔187〕}
アカシジャ シロモジ^{〔187〕}
明石城 城表^{〔187〕}
明石市立天文学科学館 科学博物館^{〔187〕}

あかちし

あかてめ

あかはお

あかまう
7

あかほう

あかむら

あかりま

あきおう

8

